

北海道浮魚ニュース

平成 28(2016)年度 4 号

2016 年 6 月 6 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎マサバ・マイワシ漁場調査結果

サバ類は 27cm 台，マイワシは 16cm 台が主体

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業が禁止となり，その代替漁業として 19 トン型棒受網漁船によるサバ類・マイワシを対象とした漁業が行われることになりました（もうかる漁業創設支援事業）。このため，釧路水産試験場では例年（6 月下旬）より早い 5 月下旬から調査を開始し，その結果をお知らせします。当初 4 調査点を調査する予定でしたが，荒天のため 2 調査点の調査となりました。

調査期間：2016 年 5 月 30 日～2016 年 6 月 3 日

調査方法：CTD による海洋観測および流し網による漁獲試験

調査海域と調査点（表 1，図 1）：北緯 40 度以北，襟裳岬以東の 2 調査点

1. 水温分布（表 1，図 1）

各調査点の水温は表 1 のとおりです。表層 30m 深までを詳しく見ると，30m 深では南側 St. 1 と北側 St. 2 の水温差は 0.2℃となっていますが，0m～20m 深では 2 地点間の水温差は 2.1～1.7℃と差が大きくなっていました。

2. 漁獲尾数（表 1，図 1）

流し網による漁獲試験の結果，サバ類の総漁獲尾数は 191 尾（St. 1：152 尾，St. 2：39 尾），マイワシは 620 尾（St. 1：453 尾，St. 2：167 尾），サンマは 8 尾（St. 1：4 尾，St. 2：4 尾）でした。5 月下旬の漁獲試験は近年実施してしないため，前年との比較はありません。

3. 体長組成（図 1，図 2）

調査点全体での体長組成は，サバ類は 27cm 台（St. 1：27cm 台，St. 2：29cm 台），マイワシは 16cm 台（St. 1：16cm 台，St. 2：18cm 台），サンマは 29cm 台（St. 1：29cm 台，St. 2：28～29cm 台）が最も多い結果となりました。

表 1 2016 年サバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査点	位置		水温(°C)				漁獲尾数(尾)				投網		揚網	
	緯度	経度	0m	10m	20m	30m	サバ類	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ	投網日	投網時間	揚網日	揚網時間
St.1(南)	41-30	144-30	16.0	16.1	15.6	12.1	152	453	0	4	2016/05/30	17:00	2016/05/31	4:00
St.2(北)	41-53	144-07	13.9	14.0	13.9	12.3	39	167	0	4	2016/06/02	17:00	2016/06/03	3:00
計							191	620	0	8				

*ここではマサバとゴマサバを区別せず，サバ類として扱っています。

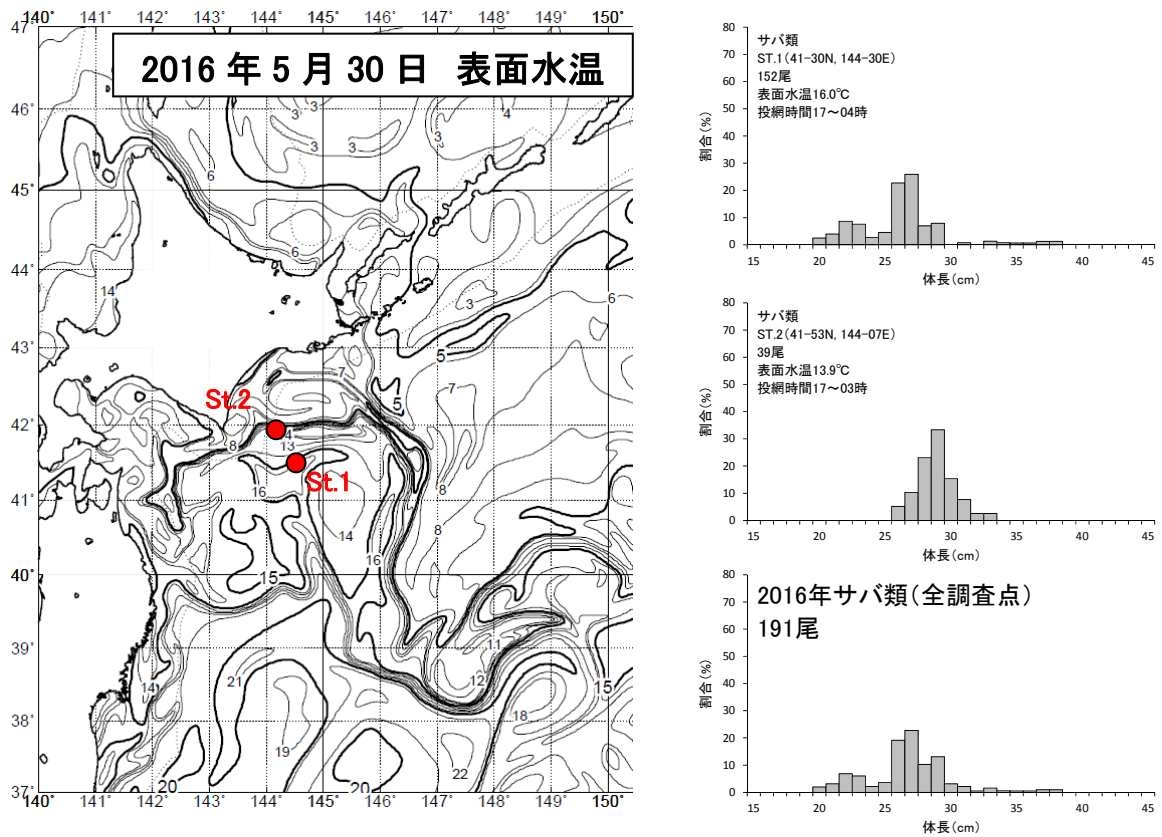


図1 2016年マサバ・マイワシ漁場調査における調査点（漁業情報サービスセンターの水温図を改変）

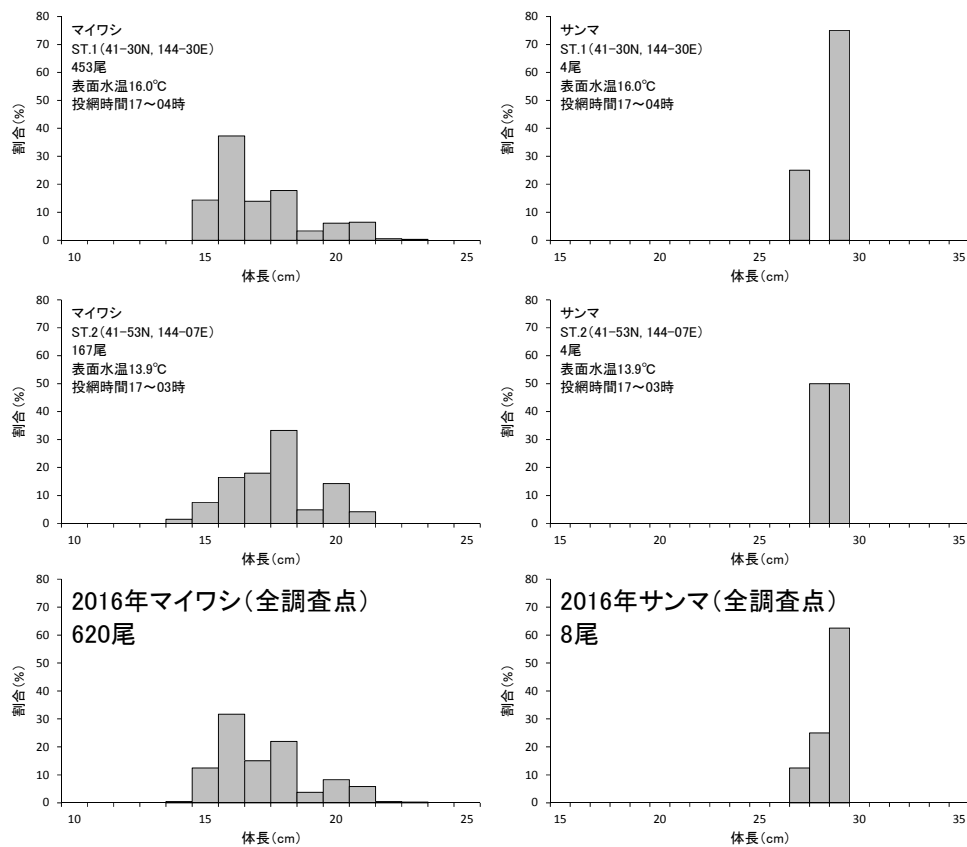


図2 2016年マサバ・マイワシ漁場調査における漁獲物の体長組成
(上段右：サバ類 下段：マイワシ、サンマ)

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)